

平成30年6月1日  
健康福祉部健康推進課  
課長 相川 広一  
外線 (076) 225-1435  
内線 4130

## 平成29年人口動態統計月報年計（概数） 石川県分の概況

「平成29年人口動態統計月報年計（概数）の概況」〔厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室集計・6月1日公表（厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai17/index.html>）〕による石川県関係分は、前年に比べ死亡数、死産数、周産期死亡数、婚姻件数は増加し、出生数、乳児死亡数、離婚件数は減少した。

### 〔出生〕

- ・ 平成29年の出生数は8,696人で、平成28年の8,927人より231人減少している。
- ・ 平成29年の出生率(人口千対)は7.7で、平成28年の7.8より低下している。  
なお、全国平均は7.6である。
- ・ 平成29年の合計特殊出生率は1.54で、平成28年の1.53より上昇している。  
なお、全国平均は1.43である。

### 〔死亡〕

- ・ 平成29年の死亡数は12,727人で、平成28年の12,422人より305人増加している。
- ・ 平成29年の死亡率(人口千対)は11.2で、平成28年の10.9より上昇している。  
なお、全国平均は10.8である。
- ・ 死亡原因の順位は、第1位 悪性新生物 3,572人(人口10万対 314.4)、第2位 心疾患 1,991人(人口10万対 175.3)、第3位 脳血管疾患 1,111人(人口10万対 97.8)である。

- ・ 平成29年の乳児死亡数は16人で、平成28年の19人より3人減少し、平成29年の乳児死亡率(出生千対)は1.8で、平成28年の2.1より低下している。

なお、乳児死亡率の全国平均は1.9で、本県はそれよりも低い。

- ・ 平成29年の周産期死亡数は32人で、平成28年の24人より8人増加し、平成29年の周産期死亡率(出産千対)は3.7で、平成28年の2.7より上昇している。

なお、周産期死亡率の全国平均は3.5で、本県はそれよりも高い。

#### [自然増減]

- ・ 出生と死亡の差である自然増減数は△4,031人で、平成28年の△3,495人より536人減少している。

また、自然増減率(人口千対)は△3.5で、平成28年の△3.1より低下している。

なお、自然増減率の全国平均は△3.2で、本県はそれよりも低い。

#### [死産]

- ・ 平成29年の死産数は163胎で、平成28年の159胎より4胎増加している。

平成29年の死産率(出生+死産千対)は18.4で、平成28年の17.5より上昇している。

なお、死産率の全国平均は21.1で、本県はそれよりも低い。

#### [婚姻]

- ・ 平成29年の婚姻件数は5,169組で、平成28年の5,126組より43組増加している。

平成29年の婚姻率(人口千対)は4.6で、平成28年の4.5より上昇している。

なお、婚姻率の全国平均は4.9で、本県はそれよりも低い。

#### [離婚]

- ・ 離婚件数は、平成10年以降、毎年2千組前後で推移しているところであるが、平成29年の離婚件数は1,540組で、平成28年の1,653組より113組減少し、平成29年の離婚率(人口千対)は1.36で、平成28年の1.45より低下している。

なお、離婚率の全国平均は1.70で、本県はそれよりも低い。

## 主な用語の定義

自然増減：出生数から死亡数を減じたもの

合計特殊出生率：15歳～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子供数に相当する。

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死産：妊娠満12週以後の死児の出産

周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

人口動態総覧(石川県分)

	実 数		率		平均発生間隔	
	平成 29年	平成 28年	平成 29年	平成 28年	平成 29年	平成 28年
出 生	8,696	8,927	7.7	7.8	時 分 秒 1: 00: 26	時 分 秒 59: 02
合計特殊出生率	—	—	1.54	1.53	. . .	. . .
死 亡	12,727	12,422	11.2	10.9	41: 18	42: 26
乳児死亡	16	19	1.8	2.1	547: 30: 00	462: 18: 57
新生児死亡	7	7	0.8	0.8	1251: 25: 43	1254: 51: 26
自然増減	△ 4,031	△ 3,495	△ 3.5	△ 3.1	. . .	. . .
死 産	163	159	18.4	17.5	53: 44: 32	55: 14: 43
自然死産	94	85	10.6	9.4	93: 11: 29	103: 20: 28
人工死産	69	74	7.8	8.1	126: 57: 23	118: 42: 10
周産期死亡	32	24	3.7	2.7	273: 45: 00	366: 00: 00
妊娠満22週以降の死産	27	18	3.1	2.0	324: 26: 40	488: 00: 00
早期新生児死亡	5	6	0.6	0.7	1752: 00: 00	1464: 00: 00
婚 姻	5,169	5,126	4.6	4.5	1: 41: 41	1: 42: 49
離 婚	1,540	1,653	1.36	1.45	5: 41: 18	5: 18: 50

(注) 1 平成29年は概数、平成28年は確定数である。

2 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対であり、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。

主要死因別 死因順位・死亡数（人）・死亡率（人口10万対）・全死亡数に占める割合（％）

全 国					石 川 県									
平 成 2 9 年					平 成 2 9 年					（参考：平成28年）				
順位	区 分	死亡数	死亡率	割合	順位	区 分	死亡数	死亡率	割合	順位	区 分	死亡数	死亡率	割合
				％					％					％
1	悪性新生物	373,178	299.4	27.8	1	悪性新生物	3,572	314.4	28.1	1	悪性新生物	3,517	308.5	28.3
2	心疾患	204,203	163.8	15.2	2	心疾患	1,991	175.3	15.6	2	心疾患	1,891	165.9	15.2
3	脳血管疾患	109,844	88.1	8.2	3	脳血管疾患	1,111	97.8	8.7	3	脳血管疾患	1,139	99.9	9.2
4	老 衰	101,787	81.7	7.6	4	老 衰	965	84.9	7.6	4	肺 炎	1,112	97.5	9.0
5	肺 炎	96,807	77.7	7.2	5	肺 炎	929	81.8	7.3	5	老 衰	890	78.1	7.2
6	不慮の事故	40,395	32.4	3.0	6	不慮の事故	405	35.7	3.2	6	不慮の事故	449	39.4	3.6
7	誤嚥性肺炎	35,740	28.7	2.7	7	誤嚥性肺炎	306	26.9	2.4	7	腎 不 全	204	17.9	1.6
8	腎 不 全	25,135	20.2	1.9	8	腎 不 全	218	19.2	1.7	8	自 殺	177	15.5	1.4
9	自 殺	20,431	16.4	1.5	9	血管性及び詳細不明の 認 知 症	200	17.6	1.6	9	大動脈瘤及び解離	164	14.4	1.3
10	血管性及び詳細不明の 認 知 症	19,559	15.7	1.5	10	自 殺	189	16.6	1.5	10	慢性閉塞性肺疾患	150	13.2	1.2

（注）平成29年は概数、平成28年は確定数である。